

令和6（2024）年度 事業報告書

（令和6（2024）年3月1日～令和7（2025）年2月28日）



公益財団法人
藤澤記念財団

I.基本方針

1. 教育の普及と機会均等の実現: 奨学金を通じて、教育の普及を促進し、社会的・経済的な制約による教育機会の格差解消を目指す。
2. 人材育成の支援: 奨学金を受けた学生が、優れた教育環境で学び、成長することを支援する。将来的に社会で活躍し、リーダーシップを発揮する人材を育成することを目指す。
3. 社会への貢献: 奨学金の受給者が、学術の成果や知識を社会に還元し、社会的な問題の解決や発展に貢献することを期待し、また、教育によって地域や国際社会に貢献する人材の育成を支援する。
4. 公益法人に求められるガバナンス体制を構築、社会の信頼を得た永続的な活動を行う。

II.事業活動

1.奨学金事業

令和6（2024）年度は就学意欲がありながらも経済的理由により就学が困難な大学生及び大学院生が安心して学び続けるために奨学金の給付を行い、将来の目標とする仕事や夢が明確に描ける次世代を担う有望な人材の育成をはかり社会の発展に寄与することを目的として次の事業を行った。

（1）音楽奨学金事業

（1-1）募集概要

① 募集期間

令和6（2024）年4月1日から令和6（2024）年6月10日まで

② 受給期間

令和6（2024）年4月1日から令和7（2025）年3月31日まで

③ 応募資格

（ア）学資の援助をすることが必要であると認められる者

（イ）将来社会的に有益な活動を目指す者

④ 助成額

27名に対し月額3万円の6ヶ月分（18万円）を年2回

(2) 応募結果

- ① 応募総数：52名のうち27名を奨学生として決定

※1名36万円、計972万円を給付

- ② 奨学生採用実績校一覧（50音順）

大学名	採用数(名)	大学名	採用数(名)
愛知県立芸術大学	1	東京音楽大学	2
エリザベト音楽大学	1	東京藝術大学	1
大阪教育大学	1	桐朋学園大学	1
鹿児島国際大学	1	徳島文理大学	1
岐阜聖徳学園大学	1	名古屋芸術大学	1
京都市立芸術大学	1	広島文化学園大学	2
金城学院大学	1	フェリス学院大学	1
くらしき作陽大学	1	平成音楽大学	1
国立音楽大学	1	宮城学院女子大学	1
神戸女学院大学	1	武蔵野音楽大学	1
洗足学園音楽大学	1	昭和音楽大学	2
同志社女子大学	1	相愛大学	1
計27名			

(3) 選考スケジュール

下記の日時にて助成先の選考及び決議を行った。

- ① 選考委員会

開催日時：令和6（2024）年7月4日

開催場所：東京都港区南麻布四丁目5番48号 フォーサイト南麻布2階

※中西選考委員、藤田選考委員はリモート会議システムにより参加

- ② 理事会

開催日時：令和6（2024）年7月12日（Zoomにて開催）

(4) 活動報告

- ① 中間報告

ア. 奨学生Aさん

この度は、貴財団からのご支援のおかげで、学生生活を充実して過ごせております。現在、学んでいるオペラ専攻では授業や稽古に取り組む時間が多く、通常であれば学業とアルバイトの両立で練習時間を確保するのが難しい状況ですが、奨学金のおかげで、練習と学びの時間を十分に保つことができております。また、現在執

筆中の論文に集中する時間も確保でき、より深く音楽を追求する機会をいただいております。先日、大学のオペラ定期公演では出演した際に、カーテンコールで、大きな拍手と歓声をいただき、今後さらに成長し続けるためのモチベーションになりました。

イ. 奨学生 B さん

ついに、最終学年である大学4年生となり、大学生活も残りわずかとなりました。だからこそ、これまで以上に自分自身と真摯に向き合い、日々将来について深く考える上で時には悩むこともありましたが、努力し続け夢に一步近づくことができた半期であったように感じます。私自身、将来は高等学校の音楽の教員として、地元で勤務し、音楽教育を発展させていきたいという夢があります。大学4年間の間、その思いは揺らぐことはなく、技術力、人間力共に磨き続けることができたように感じます。そして、今年は念願の教育実習があるということで、最善を尽くしたものの、理想と現実の差を目の当たりにし、果たして自分は将来、教員として頑張っていけるのだろうかという不安を抱いてしまったのが正直なところでした。しかし、その不安よりも、音楽を通して想いを人に届けること、人と人とが繋がることの尊さを、教員として生徒に伝えていきたいという思いの方が大きかったです。だからこそ、今はまだまだ未熟で未完成である自分を受け入れた上で、足りないところ、改善すべきところから目を背けず、努力することができたように感じます。そして、私の熱い思いと努力が結びついたおかげか、ありがたいことに、地元の教員採用試験で中学校・高等学校の音楽科に合格することができました。教育実習から教員採用試験にかけて、本当に簡単ではないことばかりで、時には心が折れそうになってしまった時もありましたが、自分を信じて努力したことは決して無駄ではなかったと強く実感しています。先生方のご指導、友人、家族の支えは勿論のこと、何よりも金銭面の不安を抱えることなく、勉学に打ち込むことができる環境を整えてくださった貴財団の支えがあったからこそ、今の私が存在しているということを忘れず、今後も奨学生として相応しい人間であるよう、日々成長していきたいと思います。

ウ. 奨学生 C さん

奨学金を利用させて頂き、昨年度はできなかった様々な経験や学びを得ることができました。県外のコンクールに参加することで、関東圏で活躍されている奏者と交流することができ、人脈を更に広げることができました。リサイタルや演奏会等の演奏活動を行う中で、人との繋がりが広がりました。引き続き、学生生活や演奏活動を両立して取り組みたいと思います。来年度は、積極的に音楽に関する講義を多く受講し、更に音楽に関する様々な専門的知識を多く取り入れ、音楽に対する理解を深めたいと思っています。また分析や理解をするだけでなく、大学では学んだ

ことが演奏を通して実践できるため、大学が主催するコンサートや発表会等にも積極的に参加させて頂き、講義等で学んだことを演奏を通して理解を深めていきたいと考えています。また私はプロのオーケストラ奏者になりたいと考えているので、この目標に近づけるように、県外のコンクールに多く挑戦して、周りの奏者からの刺激を受けたり、目標への視野を広げたりしたいと考えています。またコンクールやレッスン、講義で学んだことを生かして、オーケストラのオーディションを受け続けていきたいと考えています。

エ. 奨学生 D さん

前期の活動を通して、修了演奏会に向けてだけでなく、今後の音楽家としての人生の糧になる体験や努力が、学生という立場で実行できていることに、改めて感謝の気持ちを持つことを第一に、今後も活動していきたいです。毎日が試行錯誤の日々で、学生生活のかけがえのない貴重な体験をさせてもらっていると感じています。現在、アルバイトは週末に約10時間程度で、平日は大学でとても有意義な時間を過ごすことができます。今までは生活や時間に余裕が無く気づけなかった研究課題や、自分がやりたい研究を思うように進められています。この自分の研究を今後どの様に生かし、どのように社会に貢献できるか考え、実行することが奨学生のあるべき姿であり、義務であるとも日々感じています。将来は、自分の下の世代の教育に貢献できるような人材になりたいと思います。そのためには、今自分がやるべきことを思う存分にやりきり、経験を積んでいきたいと思います。「生涯学習」をモットーに、常に学ぶことを一生の目標として今後の残り少ない学生生活を送りたいと思います。

オ. 奨学生 E さん

給付して頂いた奨学金を使用し、夏季休業期間に大学卒業後のヨーロッパ留学を見据えて、ヨーロッパでの講習会に参加させていただきました。約2週間滞在し、日本とは異なる文化、価値観に触れることができ、自分の音楽観が大きく広がりました。また、ヨーロッパ諸国の著名な教授によるレッスンを複数回受講でき、推薦コンサートにも出演させていただきました。各国の先生方からいただくアドバイスは視点が様々で、自分の中で長年取り組んできた曲でも新しい発見が多くあり、今までにないほど充実した期間を過ごすことができました。また、ヨーロッパからの参加者とも繋がることができ、留学についての情報、現地での生活のお話を聞けたことも大変貴重な時間となりました。

ヨーロッパの音楽学校の入学試験に合格することができたら、最初は生活するだけでも精一杯な状態だと思いますが、学校生活だけではなく、演奏会や教会に訪れたり、色々な文化的な刺激を沢山得て、自分の音楽に繋がりたいです。また、国

際コンクールにも積極的に挑戦するために、自身のレパートリーを広げることに力を感じたいと思っております。

② 終了報告

ア. 奨学生 A さん

1年間、大変お世話になりました。貴財団の奨学金を頂く事が出来た事は、自身の中で非常に大きな自信となり、また大きな心の支えとなりました。昨年の始めに父が病により働けなくなってしまった際には、「これからどうしよう」という不安が大きく勉学に集中出来ない時期もあったのですが、貴財団にご支援を頂く中で「この時間を有意義に過ごさなくては」という強い気持ちが湧くようになり、それにより1年間でこれまで以上に濃厚な学びを行う事が出来たように思います。そして、これまではただ漠然としか考えていなかった学生生活を送れる事への感謝を再認識し、その感謝を還元出来るようこれまで以上に高いモチベーションを持って研究・ピアノの研鑽に取り組む事が出来たと感じております。又、貴財団の御支援は金銭の支えにより自身の生活にも大きなゆとりを与えてくださいました。アルバイトの時間を減らして大学にいる時間を増やす事が出来たり、演奏会に行く機会も多くもつ事ができ、大変嬉しかったです。それにより、無理をせず毎日を健康的に過ごす事が出来たと感じております。これらの経験を忘れる事なく、この1年間貴財団に御支援頂いた事を感謝申し上げますと共に今後の勉学や業務に熱心にも取り組んでまいります。誠にありがとうございました。

イ. 奨学生 B さん

奨学金をいただいたことで、仕事を増やさずに済みました。そして、ピアノの実技と授業科目の勉強と教職の両立、更に、音楽教育の研究をすることができ、成績も維持することができました。

大好きな大学を、経済上、通学継続を諦めるしかないのか、と思っていた一昨年でしたが、こうして最後まで通うことができ、卒業までできたことが本当に感謝です。

貴会の奨学金をいただけた為に、叶った夢であります。

まだまだ未熟で、これからも多くの挫折もあると思いますが、貴財団の奨学金をいただいた誇りと感謝を胸に秘めて、頑張って参ります。

ありがとうございました。

ウ. 奨学生 C さん

藤澤記念財団様、私を面接して下さった担当者様、事務局の皆様、御年度一年間大変お世話になりありがとうございました。私にはたくさんのコンサートに出演する有名なピアニストになりたいという大きな夢があります。その夢は簡単なもので

はないので、学校以外にもいろいろな学びやコンクールの参加が必要なのですが、一回生という大学生活、スタートの時に応援して頂けて思いっきり学び成長することが出来ました。財団の皆様に「あ、我々が応援した子の名前だ」と今後目にして思っただけの活躍が出来るように、二回生以降も精一杯努力することを約束いたします。一年間を終え感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

エ. 奨学生 D さん

今年度1年間、奨学金を給付していただき本当にありがとうございました。昨年度のようにバイトに月80時間注ぎ込むことなく、半分の月40時間ほどで済み、そのおかげで練習時間も勉強時間も多く取れました。身体的疲労も精神的疲労もぐんと減りました。今年度は悩みが尽きない1年でたくさん歌うことについて考えてたくさん苦しんだ1年でした。しかし、この春休みにお声がけいただいて、地元で保育園と老人ホームで演奏する機会がありました。これは私にとって初めて、1人で歌を歌ってお金を貰うという仕事の体験でした。たくさん小さい園児たちに7曲、20人ほどのおじいさんおばあさんたちに7曲、それぞれ考えて選曲して小道具も作って、とても小さいですが2公演終えることができました。普段緊張で固くなってしまう私ですが、今回は良い緊張感を持って自由に表現することができました、これは初めての感覚でとても良い経験になりました。今回だけでなくこれからの実技試験などでもそのような演奏ができたらと、今回がそれに繋がる大きなヒントになるといいなと思っています。この公演の後、他の保育園2か所からも「話を聞いたぜひうちでもやっていただきたい」とお声がけいただくことができました。来年の夏休みには3か所の保育園とまた老人ホームで小さな演奏会を開くことができる予定です。もしも藤澤記念財団様から奨学金をいただいていたければ、今年も春休みは一生懸命バイトをして地元に戻る暇も余裕もなかったと思います。このような機会もいただけていなかったことと思います。ほんとうに感謝の気持ちでいっぱいです。

オ. 奨学生 E さん

一年間貴財団の奨学生として採用していただけたこと、誠に感謝申し上げます。私は以前から教員になるという夢を抱いており、叶えるために日々努力してきました。その過程で、もう少し教育に対して勉強してみたい、今後の日本の教育をより良いものにしていきたいという願望が芽生え、教職大学院への進学を視野に入れるようになりました。このように夢を持てること、自分で選択できることは決して当たり前のことではないと感じております。現代社会は大きく発展してはいますが、叶えたい夢があっても経済的事情で諦めざるを得なかったり、そもそも進学すら選

沢山の中に含まれていなかったりと、悩みを抱えた児童生徒はまだまだ沢山います。自分の未来は自分で切り拓くしかありませんが、一人では必ず限界があるのもまた事実です。だからこそ貴財団のような、学生に支援を行う取り組みがあることで多くの児童生徒が救われるのではないかと、私も実際に奨学生として生活してきた上で強く実感いたしました。私自身、教員を目指す立場ではありますが、やがて教育現場から離れた際、このように学生を支援する取り組みを行ってみたいという夢も密かに抱くようになりました。多くの児童生徒が、経済的事情にとらわれず、夢を抱き、叶えるために努力できる環境がこれからも整っていきますよう、貴財団の益々のご発展をお祈り申し上げます。

Ⅲ.法人運営

1.理事会・評議員会の開催

(1) 理事会

- ① 開催日：令和6（2024）年5月9日（Zoomにて実施開催）
 - 第1号議事 令和5（2023）年度事業報告の件
 - 第2号議事 令和5（2023）年度決算報告の件
 - 第3号議事 評議員会の招集の件
 - 報告事項 代表理事の職務執行状況報告
- ② 開催日：令和6（2024）年5月9日（決議省略にて実施）
 - 第1号議事 理事の選任の件
 - 第2号議事 評議員会の招集の件
- ③ 開催日：令和6（2024）年5月24日（Teamsにて実施開催）
 - 第1号議事 代表理事の選任の件
- ④ 開催日：令和6（2024）年7月12日（Zoomにて実施開催）
 - 第1号議事 音楽奨学金の応募選考結果に基づく給付承認の件
- ⑤ 開催日：令和7（2025）年2月13日（Zoomにて実施開催）
 - 第1号議事 令和6年度収支予算変更の件
 - 第2号議事 令和7年（2025）度事業計画の件
 - 第3号議事 令和7年（2025）度収支予算の件
 - 第4号議事 規程の新設の件
 - 第5号議事 資産運用執行責任者の選任の件
 - 報告事項 職務執行状況報告
- ⑥ 開催日：令和7（2025）年2月14日（Zoomにて実施開催）
 - 第1号議事 資金運用規程および有価証券取扱規程に基づく株式取得の件

(2) 評議員会

① 開催日：令和 6（2024）年 5 月 24 日（Zoom にて実施開催）

第 1 号議事 令和 5（2023）年度事業報告の件

第 2 号議事 令和 5（2023）年度決算報告の件

② 開催日：令和 6（2024）年 5 月 24 日（Teams にて実施開催）

第 1 号議事 理事の選任の件

2.その他

(1) 運営組織に関する重要な事項

当法人においては、評議員、理事および監事に対する報酬等の支給基準に基づき、すべての評議員、理事および監事は無報酬であるため、報酬等の総額はなく、また、2,000 万円を超える報酬・給与を受けている者もおりません。

(2) 事業活動に関する重要な事項

①関連当事者との取引について

当法人においては、当該事業年度において関連当事者との取引は確認されておりません。

②海外への送金の有無及びリスクの軽減策について

当法人は、当該事業年度において海外への送金は実施しておらず、それに関連するリスクも存在しないため、特段のリスク軽減策は講じておりません。

(3) 令和 6 (2024)年度事業報告の附属明細書

令和 6 (2024)年事業年度においては、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。

以 上